

公益財団法人茨城県開発公社 令和6年度事業報告

令和6年度の経営状況については、昨今の材料価格高騰や人手不足の影響下にあり、先行きについて注視が必要な状況が続いているが、各事業において事業環境の変化に的確に対応しながら、安定的かつ継続的な経営に努めた。

事業全体の当期一般正味財産増減額は、土地開発事業において土地の引渡しを行ったこと、ビル管理事業において経費節減に努めたこと等から、109百万円余の増となった。

【正味財産増減表抜粋】

(単位：千円)

		収益計	費用計	他会計振替	当期一般 正味財産増減額	正味財産 期末残高
R6決算		8,890,355	8,780,557	－	109,798	11,618,040
公益目的事業	土地開発事業	4,700,147	4,504,809	－	195,338	7,066,997
	茨城空港旅客 ターミナルビル事業	383,434	401,642	－	△ 18,208	78,629
	園地整備・管理事業	43,533	154,027	34,542	△ 75,951	△ 120,863
	水道事業	1,497,954	1,497,954	－	△ 0	124,193
収益事業	宿泊施設・日帰り温 泉施設事業	1,878,437	1,877,448	△ 395	594	560,057
	ビル管理事業	381,948	286,839	△ 34,147	60,962	3,962,643
	立地促進事業	125	17,176	△ 50,000	△ 67,051	156,074
法人会計		4,776	40,662	50,000	14,113	△ 209,691
内部取引等消去		－	－	－	－	－
R5決算		19,748,901	18,616,073	－	1,132,828	11,492,808
R4決算		11,044,565	10,972,339	－	72,226	10,372,044

- ・収益計＝経常収入＋経常外収入。
- ・費用計＝経常費用＋経常外費用＋法人税・住民税等。
- ・他会計振替＝収益事業の利益のうち概ね1/2を公益目的事業に振り替えている。
- ・数値は、表示単位未満の数値を四捨五入したので、計と内訳が一致しない場合がある。（以下同じ）

※正味財産期末残高については、指定正味財産期末残高を含む。

○事業別実績概要

【公益目的事業】

1 土地開発事業

【プロパー事業 処分等実績】

- ・稲敷工業団地の3.9haの区画について、令和6年9月18日付で南総通運(株)と分譲契約を締結し、令和8年3月の土地引き渡しに向け、道路改良舗装・造成工事を進めた。
- ・南中郷工業団地の3.6haの区画について、令和6年10月31日付でリース契約企業である鈴縫工業(株)に分譲した。これにより定期借地権設定契約は混同により消滅となった。
- ・茨城工業団地の5.6haの区画について、割賦及びファイナンスリースの売上を計上した。
(うち2.7haの区画については、割賦代金の3割超を受領したため、(株)タカミヤへ所有権を移転済。)

○令和6年度引き渡し状況一覧

契約締結日	企業名等	面積	団地名	処分形態
R6.10.31	鈴縫工業(株)	3.6ha	南中郷	リース区画を分譲
H27.7.24	(株)タカミヤ	2.7ha	茨城	割賦区画の所有権移転
令和6年度計		6.3ha		

※プロパー団地については、全面積立地済み。

【公共事業 工事等実績】

- ・茨城県の所有する8団地において、造成工事の施工及び企業誘致に関する協力支援までの一連の業務を受託しており、茨城中央工業団地（Ⅰ期・Ⅱ期・笠間地区）において道路改良舗装、雨水、污水、造成等の工事を実施したほか、各公共工業団地において除草等の管理を実施した。（受託元：茨城県）
- ・「つくばみらい福岡地区土地造成事業」（受託期間：令和3～6年度、受託元：県企業局）において、植栽工事、道路舗装工事を実施し、事業を完了した。
- ・「坂東山地区土地造成事業」（受託期間：令和4～7年度、受託元：県企業局）において、坂東市への再委託により用地買収を進めるとともに、調整池、雨水管布設等の工事を進めた。受託契約期間を令和7年度末まで延長した。
- ・「ひたちなか地区土地造成事業（第1期拡張地区）」（受託期間：令和5～7年度、受託元：県企業局）において、危険物及び地質調査、伐木造成工事を実施した。
- ・「ひたちなか地区土地造成事業（第2期拡張地区）」（受託期間：令和5～8年度、受託元：県企業局）においても、危険物及び地質調査、伐木造成工事を実施した。

【代替地処分実績】

- ・代替地処分実績なし。

【正味財産増減表】

(単位：ha・千円)

	R6決算	R5決算	前年比
団 地 処 分 面 積	6.3	16.4	△ 10.1
経 常 収 益	4,700,147	13,558,660	△ 8,858,513
経 常 費 用	4,504,809	12,596,376	△ 8,091,566
経 常 増 減 額 a	195,338	962,285	△ 766,947
経 常 外 収 益	－	※1 6,355	△ 6,355
経 常 外 費 用	－	－	－
経 常 外 増 減 額 b	－	6,355	△ 6,355
増 減 額 計 a + b	195,338	968,640	△ 773,302
他 会 計 振 替	－	－	－
当期一般正味財産増減額	195,338	968,640	△ 773,302
一般正味財産期末残高	6,976,545	6,781,207	195,338
指定正味財産期末残高	90,452	92,239	△ 1,787
正 味 財 産 期 末 残 高	7,066,997	6,873,446	193,550

※1 固定資産売却益（代替地処分）

【プロパー事業 団地簿価】

	前期繰越高 (簿価)	令和6年度 増減額 (減損・造成等)	令和6年度 簿価減少分 (原価)	令和6年度 売却高 上段は売却益	その他要因 による増減	令和6年度末 簿価残高
南中郷	-	-	36,281㎡	183,328千円	36,281㎡	-
	-	-	85,862千円	269,190千円	85,862千円	-
茨城	55,687㎡	-	※1 26,913㎡	59,710千円	-	28,775㎡
	574,285千円	-	77,477千円	※2 137,188千円	-	496,808千円
稲敷	171㎡	56,886㎡	-	-	-	57,057㎡
	83,199千円	290,184千円	-	-	-	373,383千円
鉾田西部	689㎡	-	-	-	-	689㎡
	13,035千円	-	-	-	-	※3 13,035千円
緒川	3,013㎡	-	-	-	-	3,013㎡
	2,139千円	-	-	-	-	※3 2,139千円
砂沼サンビーチ 跡地整備	-	-	-	-	-	-
	2,843千円	84千円	-	-	-	※4 2,927千円
新規開発 プロパー	-	-	-	-	-	-
	-	69千円	-	-	-	69千円
合 計	59,560㎡	56,886㎡	63,193㎡	243,038千円	36,281㎡	89,534㎡
	675,500千円	290,337千円	163,339千円	406,378千円	85,862千円	888,360千円

※1 割賦契約の区画において、所有権移転登記を行ったことにより減少。

※2 茨城工業団地の事業用定期借地契約の売上については、ファイナンスリースとして当期受取賃貸料ではなく土地売却収益に計上している。（簿価残は年度末残高に含まれている。）

※3 仮登記を本登記にできない分について手続き中であり、完了後に県に売却予定。

※4 人件費等の配賦額についてのみ計上しており、既存施設の撤去・造成に必要な調査費用等は法人会計の建設仮勘定に計上している。

2 茨城空港旅客ターミナルビル事業

- ・「春秋航空」の上海定期便の再開や国内線搭乗率の向上などにより、搭乗者数は約78万人（前年対比約3万人増）、搭乗者と見学者を合わせた来場者数は、約141万人（前年対比約5万人増）となった。
- ・国内線については、「スカイマーク」の定期便搭乗率向上や「フジドリームエアラインズ」のチャーター便就航により、国内線搭乗者数は過去最多となった。また、スカイマーク福岡便は、令和7年3月30日より1日2便に増便となり、今後更なる利用拡大が期待される。（国内線搭乗者数約71万人）
- ・国際線については、「タイガーエア台湾」の台北定期便が運航を継続し、「春秋航空」の上海定期便が12月24日より運航再開となった。また、新たなプログラムチャーターとして「エアロK」（韓国の格安航空会社）による清州便も運航され、搭乗者数は前年度から増加となった。（国際線搭乗者数約7万人）
- ・令和5年10月から茨城空港で導入された航空便の乗り入れに係る弾力化ルールのもとで、初のビジネスジェット発着が行われた。（ビジネスジェット運航会社「スカイトレック」）
- ・長期修繕計画（R3年度～R12年度）に基づき、フライトインフォメーション設備や監視カメラの更新などの空港運営に必要な設備機器類の更新を実施した。
- ・国の「航空脱炭素化推進基本方針」に基づく空港脱炭素化推進計画の一環として、補助金事業を活用したターミナル館内照明のLED化を実施し、エネルギー消費の削減および環境負荷の低減を図った。
- ・搭乗者が利用するエプロン動線における雨風や日差しの影響を軽減するため、国の補助金事業を活用したエプロンルーフ延伸工事を実施し、利用者の利便性向上を図った。
- ・集客促進を図るため、県や小美玉市、航空会社との共催によりイベントやターミナルビル装飾を行った。（空の日イベント、タイガーエア台湾就航6周年イベント、茨城空港プライベートジェット初飛来イベント、開港15周年イベント、福岡線増便記念イベント、茨城空港・韓国フェア、春秋航空運航再開セレモニー等、計86件）
- ・茨城県とJRグループが一体となって実施した「茨城アフターデスティネーションキャンペーン」に協力し、効果的な広告掲出に努めた。
- ・茨城県が実施する「茨城空港のあり方検討会」において、委員就任やターミナルビルへの意見箱の設置等を通じて、茨城空港の将来ビジョン検討への取り組みに協力した。

【正味財産増減表】

（単位：人・千円）

	R6決算	R5決算	前年比
来場者数 ※1	1,406,200	※1 1,360,500	45,700
経常収益	383,434	369,576	13,858
経常費用	401,453	388,016	13,437
経常増減額 a	△ 18,019	△ 18,440	421
経常外収益	－	－	－
経常外費用 ※2	189	※2 1,085	△ 896
経常外増減額 b	△ 189	△ 1,085	896
増減額計 a + b	△ 18,208	△ 19,525	1,317
他会計振替	－	160,109	△ 160,109
当期一般正味財産増減額	△ 18,208	140,585	△ 158,792
一般正味財産期末残高	11,700	29,908	△ 18,208
指定正味財産期末残高	66,930	47,562	19,367
正味財産期末残高	78,629	77,470	1,160

※1 来場者数＝見学者数＋搭乗者数。

※2 固定資産除却損。

3 園地整備・管理事業

【涸沼園地】

- ・2年ぶりにわんぱくプールを営業した。（利用者32,948人）
- ・地域住民の交流と健康増進に寄与するため、「グラウンド・ゴルフ大会」及び「スポーツウェルネス吹矢大会」を計13回開催した。（グラウンド・ゴルフ大会参加者619名、吹矢大会参加者259名）
- ・自然環境保護意識の醸成及び青少年の健全な育成に寄与するため、「涸沼ビオトーププロジェクト 昆虫・植物自然観察会」及び「野鳥観察会」を開催した。（参加者96名）
- ・地域の賑わいづくりのため、10月に釣具メーカー等から協賛を受け、「メガバスカップ シーバス・ワンデイトーナメント in 涸沼2024」を開催した。（参加者173名）

【伊師浜国民休養地】

- ・スポーツを通じた施設利用者の健康増進に寄与するため、「ノルディック・ウォーキング体験会」及び「グラウンド・ゴルフ大会」を開催した。（参加者175名）
- ・自然環境保護意識の醸成及び青少年の健全な育成に寄与するため、「ホタル観賞会」、「自然観察会」及び「野鳥観察会」を開催した。（参加者約430名）
- ・地域住民及び施設利用者の交流と地域振興に寄与するため、11月に「鶉の岬秋まつり」を開催した。（参加者約4,000名）
- ・休養地内の自然環境維持のため、枯松伐採を行った。（伐採59本）

【正味財産増減表】

（単位：人・千円）

	R6決算	R5決算	前年比
グラウンド・ゴルフ人数	※1 13,250	※1 12,539	711
プー ル 入 場 者 数	32,948	0	32,948
バ タ ー ゴ ル フ 人 数	1,627	1,264	363
ス ポ ー ツ プ ラ ザ 人 数	5,600	4,327	1,273
多 目 的 広 場 人 数	3,285	2,199	1,086
経 常 収 益	43,533	18,210	25,324
経 常 費 用	153,926	127,112	26,814
経 常 増 減 額 a	△ 110,392	△ 108,902	△ 1,490
経 常 外 収 益	－	－	－
経 常 外 費 用	※2 101	－	101
経 常 外 増 減 額 b	△ 101	－	△ 101
増 減 額 計 a + b	△ 110,493	△ 108,902	△ 1,591
他 会 計 振 替	34,542	－	34,542
当期一般正味財産増減額	△ 75,951	△ 108,902	32,951
一般正味財産期末残高	△ 122,363	△ 46,412	△ 75,951
指定正味財産期末残高	1,500	2,320	△ 820
正 味 財 産 期 末 残 高	△ 120,863	△ 44,092	△ 76,771

※1 利用人数については涸沼園地のみ集計。

※2 固定資産除却損。

4 水道事業

【浄水場の運転管理等業務】

- ・ 県企業局所管の10浄水場において、運転管理業務及び全ルートの管路保守点検業務を実施した。
- ・ 県企業局霞ヶ浦浄水場において、オゾンに過酸化水素を加える「新たな高度浄水処理施設（オゾン促進酸化処理施設）」が令和6年11月1日に供用開始した。開発公社は県企業局と一体となり、水質検査、通水試験、試運転を実施すると共に、運転管理技術の習得を行い安定的な運転管理に取り組んだ。
- ・ 県企業局水質管理センター及び2浄水場にて水質管理・検査業務を実施した。
- ・ 県企業局那珂川浄水場において、維持管理・保全に係る設計積算・監督補助業務を行った。
- ・ 県企業局防災訓練に参加し、初動対応体制や連絡方法等の確認、企業局浄水場が行う実働訓練における作業手順等の確認を行った。

【水道工事監督補助業務】

- ・ 県企業局が実施する水道事業の土木工事に係る調査、設計及び工事等への監督補助業務を行った。

【水道普及促進・啓発事業】

- ・ 7月に「夏休み親子水道教室」を県企業局県中央水道事務所水戸浄水場で実施した。（参加者32組80名）
- ・ 10月に市町村等が主催するイベント「建設フェスタ2024」、「鹿嶋まつり」及び「ほこたオータムフェスティバル2024」に出展し、水道パネル展示を行うとともに、水質浄化実験及び漏水検知体験を実施した。
- ・ 11月に市町村水道事業担当者の技術力向上を目的とした「市町村水道事業担当者研修会」を実施した。
- ・ 県内市町村の小学校（5校）へ出向き、小学4年生を対象に水道出前教室を実施した。
（9、10月行方市2校、10、11月神栖市2校、11月石岡市1校）
- ・ 「那珂川水系クリーン作戦」及び「霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦」に参加し、水道水源保全に取り組んだ。

【正味財産増減表】

（単位：千円）

	R6決算	R5決算	前年比
経 常 収 益	1, 497, 954	1, 397, 546	100, 408
経 常 費 用	1, 497, 954	1, 397, 546	100, 408
経 常 増 減 額 a	－	－	－
経 常 外 収 益	－	－	－
経 常 外 費 用	※1 0	※1 0	△ 0
経 常 外 増 減 額 b	△ 0	△ 0	0
増 減 額 計 a + b	△ 0	△ 0	0
他 会 計 振 替	－	－	－
当期一般正味財産増減額	△ 0	△ 0	0
一般正味財産期末残高	94, 193	94, 193	△ 0
指定正味財産期末残高	30, 000	30, 000	－
正 味 財 産 期 末 残 高	124, 193	124, 193	△ 0

※1 固定資産除却損。

【収益事業】

1 宿泊施設事業

【宿泊施設事業の合計正味財産増減表】

・国民宿舎「鵜の岬」と、いこいの村潟沼の数値を合算している。

(単位：人・千円)

	宿泊者数	収益計	費用計	増減額計	他会計振替	正味財産期末残高
R6決算	84,117	1,638,603	1,637,503	1,100	△ 395	547,177
R5実績	82,021	1,596,234	1,578,143	18,091	△ 16,552	546,735
増減	2,096	42,369	59,361	△ 16,991	16,157	443

(1) 国民宿舎「鵜の岬」事業

- ・宿泊人数57,973人（対前年比152人減）、宿泊定員利用率は79.7%（対前年比0.1ポイント減）となり、日帰り宴会・会議、昼食及び喫茶利用者数は、84,883人（対前年比630人増）となった。
- ・宿泊定員利用率が、35年連続で日本一となった。（国民宿舎協会7月発表）
- ・地域の賑わいを創出するため季節ごとにワークショップや体験会を開催（参加者約1,800名）したほか、公式SNSの配信を継続して行い、集客に努めた。（Instagramフォロワー約4,800名）
- ・9月に日立市新都市広場で開催されたイベント「ひたち盆FIRE（ファイヤー）」に参加し、「冷やし足湯」を出展するとともに、鵜の岬オリジナル商品販売等を行い、施設のPRを行った。
（足湯参加者630名）
- ・9、10月に日立市観光物産協会主催による茨城アフターデスティネーションキャンペーンに協力し、「徒歩鵜(かちう)漁」等の伝統技術PRに寄与した。（参加者43名）
- ・9月2日、3日の2日間休館し、法定点検を行った。また、1月27日～1月31日の5日間休館し、5階客室の一部改修工事及び法定点検等を行った。

【正味財産増減表】

(単位：日・人・千円)

	R6決算	R5決算	前年比
営業日数 ※1	358	359	△ 1
宿泊定員利用率	79.7%	79.8%	△ 0.1P
宿泊人数	57,973	58,125	△ 152
その他利用者数 ※2	84,883	84,253	630
経常収益	1,126,360	1,126,561	△ 201
経常費用	1,125,821	1,089,589	36,232
経常増減額 a	539	36,973	△ 36,434
経常外収益	－	－	－
経常外費用	－	※3 1,132	△ 1,132
経常外増減額 b	－	△ 1,132	1,132
増減額計 a + b	539	35,840	△ 35,301
他会計振替	△ 193	△ 16,552	16,358
当期一般正味財産増減額 ※4	290	19,233	△ 18,943
一般正味財産期末残高	576,860	576,570	290
指定正味財産期末残高	－	－	－
正味財産期末残高	576,860	576,570	290

※1 R6休館日合計7日（法定点検等7日）、R5休館日合計7日（法定点検等7日）

※2 日帰り宴会、昼食、会議、喫茶利用者の合計。

※3 固定資産除却損。

※4 法人住民税56千円差引き後。

(2) いこいの村潤沼事業

- ・宿泊人数26,144人（対前年比2,248人増）、宿泊定員利用率は69.1%（対前年比12.7ポイント増）となり、日帰り宴会・会議、昼食及びキャンプ場利用者数は、39,331人（対前年比1,428人増加）となった。
- ・宿泊利用者のリピーターを対象に、ダイレクトメールを21,516枚送付し、3,061名を集客した。また、1月にはワンドリンクサービスを追加し、更なる集客に努めた。
- ・9月～10月に、宿泊者限定の体験型オプション「ハゼ釣り体験」を展開した。（8組延べ24名利用）
- ・11月～2月に、宿泊者限定の体験型オプション「野鳥観察体験」を展開した。（4組延べ10名利用）
- ・効率的な運営を図るため、利用者の少ない日に計67日間の計画休館日を設けた。
- ・地域の賑わいを創出するため「ターゲット・バードゴルフ大会」等に協賛し、約900名を集客した。
- ・市町村等が主催するイベントに出店し、販売活動及び施設PR活動を行った。
- ・公式SNSの配信を継続して行い、集客に努めた。（Instagramフォロワー約2,400名）
- ・9月17日～18日、2月3日～7日の計7日間休館し、法定点検等を行った。
- ・キャンプ場「HINUMA BASE」の営業により、延べ919人を誘客した。

【正味財産増減表】

（単位：日・人・千円）

	R6決算	R5決算	前年比
営業日数	※1 291	※1 326	△ 35
宿泊定員利用率	69.1%	56.4%	12.7P
宿泊人数	26,144	23,896	2,248
その他利用者数	※2 39,331	※2 37,903	1,428
経常収益	512,243	469,673	42,571
経常費用	511,139	487,167	23,972
経常増減額 a	1,105	△ 17,494	18,599
経常外収益	－	－	－
経常外費用	※3 544	※3 255	289
経常外増減額 b	△ 544	△ 255	△ 289
増減額計 a + b	561	△ 17,749	18,310
他会計振替	△ 201	－	△ 201
当期一般正味財産増減額	※4 304	※4 △ 17,804	18,109
一般正味財産期末残高	△ 29,978	△ 30,282	304
指定正味財産期末残高	295	447	△ 152
正味財産期末残高	△ 29,683	△ 29,835	152

※1 R6休館合計74日（計画67日、法定点検等7日）、R5休館合計40日（計画33日、法定点検等7日）。

※2 日帰り宴会、昼食、会議、キャンプ場利用者の合計。

※3 固定資産除却損。 ※4 法人住民税56千円差引き後。

2 日帰り温泉施設事業（日立市鶴来の湯十王）

- ・営業日数304日（対前年比11日増）、利用者数 140,327人（対前年比10,271人増）となった。
- ・売上増加を図るため、食事のみの利用者に係る入館料免除及び65歳以上を対象とした平日シルバー割引を継続して行った。
- ・市内イベント等において、入浴割引券（500円の入館券）を配布し利用促進を図った。
- ・日立市発行「ひたち大好きパスポート」の利用者が1,424人（前年比64人増）となった。
※市内の小中学生に配布。土曜日及び夏休み等長期休暇の期間中の利用料金が無料。
- ・食事のみの利用促進のため、新聞折込やチラシ配布によるPRを行った。（食事のみ利用者3,262名）
- ・令和7年1月16日に、開館からの来館者400万人を達成し、記念イベントを実施した。
- ・公式SNSの配信を継続して行い、集客に努めた。
（Instagramフォロワー約670名、X(旧Twitter)フォロワー約370名）

【正味財産増減表】

（単位：日・人・千円）

	R6決算	R5決算	前年比
営業日数※1	304	293	11
利用者数	140,327	130,056	10,271
経常収益	239,834	232,484	7,350
経常費用	239,834	232,484	7,350
経常増減額 a	0	0	0
経常外収益	－	－	－
経常外費用	－	－	－
経常外増減額 b	－	－	－
増減額計 a + b	0	0	0
他会計振替	△ 0	△ 0	△ 0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期末残高	12,880	12,880	0
指定正味財産期末残高	－	－	－
正味財産期末残高	12,880	12,880	0

※1 R6休館合計61日（臨時11日、定期50日）、R5休館合計73日（臨時27日、定期46日）。

3 ビル管理事業

- ・テナントの入退去が1件ずつあり、入居率は91.2%となった。
(対前年比0.3ポイント減、空室6室)
- ・会議室稼働率は、28.3%となった。(対前年比3.2ポイント減)
- ・入居テナント及び会議室利用者の安心安全を確保する施設の維持保全、衛生管理に努めた。
- ・1階2箇所にデジタルサイネージを設置し広告を募集、継続してデジタル広告による収入増を図った。
(広告11件)
- ・クリスマスイルミネーションの増設、正月飾り設置、花壇整備など季節感を創出しビルの賑わいづくりを図った。
- ・公社ビル北側駐車場の舗装工事、駐車場全体の植栽管理及び2階中庭の整備工事等を実施した。
- ・公社ビルの長期修繕計画について、策定から5年が経過していることから、より実効性のある計画としてその後の計画へ反映するため、見直しを行った。

【正味財産増減表】

(単位：千円)

	R6決算	R5決算	前年比
公 社 ビ ル 入 居 率	※1 91.2%	※1 91.5%	△ 0.3P
会 議 室 稼 働 率	※2 28.3%	※2 31.5%	△ 3.2P
経 常 収 益	381,948	391,452	△ 9,504
経 常 費 用	286,459	296,356	△ 9,897
経 常 増 減 額 a	95,489	95,096	393
経 常 外 収 益	—	—	—
経 常 外 費 用	※3 309	※3 2,370	△ 2,061
経 常 外 増 減 額 b	△ 309	△ 2,370	2,061
増 減 額 計 a + b	95,180	92,726	2,454
他 会 計 振 替	△ 34,147	△ 42,823	8,676
当期一般正味財産増減額	※4 60,962	※4 49,832	11,130
一般正味財産期末残高	3,962,630	3,901,668	60,962
指定正味財産期末残高	13	25	△ 13
正 味 財 産 期 末 残 高	3,962,643	3,901,694	60,949

※1 公社ビル入居率は面積ベースで年度末数値（全44室中、38室入居中）。

※2 会議室の稼働率は、午前・午後・夜間で算出。（1階中会議室、4階大会議室及び5階小会議室の3室）

※3 固定資産除却損。

※4 法人住民税71千円差引き後。

4 立地促進事業

【工事等実績】

- ・「筑西市西山田地区産業用地開発事業」において、企業からの要請を受け、筑西市と連携して開発に向けた調整を行うとともに、測量や補償調査を実施した。
- ・市町村と連携を図りながら、積極的な企業誘致活動を行った。

【正味財産増減表】

(単位：ha・千円)

	R6決算	R5決算	前年比
団 地 処 分 面 積	－	6.8	△ 6.8
経 常 収 益	125	2,174,652	△ 2,174,527
経 常 費 用	17,176	1,956,529	△ 1,939,353
経 常 増 減 額 a	△ 17,051	218,123	△ 235,174
経 常 外 収 益	－	－	－
経 常 外 費 用	－	－	－
経 常 外 増 減 額 b	－	－	－
増 減 額 計 a + b	△ 17,051	218,123	△ 235,174
他 会 計 振 替	△ 50,000	△ 100,734	50,734
当期一般正味財産増減額	△ 67,051	117,389	△ 184,439
一般正味財産期末残高	156,074	223,125	△ 67,051
指定正味財産期末残高	－	－	－
正 味 財 産 期 末 残 高	156,074	223,125	△ 67,051

【収益・立地促進事業簿価】

	前期繰越高 (簿価)	令和6年度 増減額 (減損・造成等)	令和6年度 簿価減少分 (原価)	令和6年度 売却高 上段は売却益	その他要因 による増減	令和6年度末 簿価残高
筑西市 西山田地区	－	－	－	－	－	－
	－	34,735千円	－	－	－	34,735千円
合 計	－	－	－	－	－	－
	－	34,735千円	－	－	－	34,735千円

【法人会計】

・管理業務に関する収益・費用や、その他の法人全般に係る、公益目的事業・収益事業に区分できないものを表示する。

【正味財産増減表】

(単位：千円)

	R6決算	R5決算	前年比
経 常 収 益	4,776	3,731	1,044
経 常 費 用	40,662	39,875	787
経 常 増 減 額 a	△ 35,887	△ 36,144	257
経 常 外 収 益	－	－	－
経 常 外 費 用	0	－	0
経 常 外 増 減 額 b	△ 0	－	△ 0
増 減 額 計 a ＋ b	△ 35,887	△ 36,144	257
他 会 計 振 替	50,000	－	50,000
当期一般正味財産増減額	14,113	△ 36,144	50,257
一般正味財産期末残高	△ 209,691	△ 223,804	14,113
指定正味財産期末残高	※1 0	※1 1,161	△ 1,161
正 味 財 産 期 末 残 高	△ 209,691	△ 222,643	12,952

※1 ソーラー街路灯設置補助金。

○その他の受託事業の実績

受託事業の実績は下表のとおりである。

(単位：千円)

委託者	受 託 事 業 名		事業	受 託 額	受 託 内 容
茨 城 県	県 単 独 事 業	茨城空港駐車場管理	空港	22, 055	監視カメラ・放送設備による駐車場の誘導案内及び巡回警備等
		駐車場整理等		5, 480	
		茨城空港公園トイレ管理		1, 416	空港公園のトイレ管理
		公園事業地管理		14, 053	空港公園の管理
		伊師浜国民休養地	園地	9, 969	休養地内及び施設設備の維持管理
		水道工事監督補助	水道	44, 672	水道工事監督補助業務
		水道啓発		1, 697	企業局水道普及啓発業務
		浄水場運転管理		1, 450, 030	浄水場運転管理業務等
日立市	日立市鶴来の湯十王管理		温泉	239, 834	温泉施設の管理運営
合 計				1, 789, 206	

○資金の借入れ状況

借入金の実績は下表のとおりである。

(単位：千円)

区 分	前 年 度 繰 越 金	期 中 借 入 増 減 額	令 和 6 年 度 末 残 高
土地開発事業 (市中金融機関借入金)	－	－	－
茨城空港旅客ターミナルビル事業 (長期・一年内返済茨城県無利子借入金合算)	1,674,284	△ 167,546	1,506,738
立地促進事業 (市中金融機関借入金)	－	－	－
合 計	1,674,284	△ 167,546	1,506,738